

# 第33回埼玉県都市対抗テニス大会結果

さいたま市は4年振りの優勝です。鹿児島開催の全国大会に出場します！



第33回埼玉県都市対抗テニス大会が1月19日(土)、20日(日)の日程で狭山市智光山公園テニスコートで開催されました。2日間とも好天に恵まれ、さいたま市テニスチームは接戦を勝ち抜き、4年振りの優勝を果たすことができました。

## 【試合結果】

○1回戦、さいたま市はふじみ野市に4-3で勝利しました。

初戦のふじみ野市は、西部地区第5代表ながら簡単な相手ではありません。さいたま市も、油断した訳ではありませんが、初戦の緊張も手伝い噛み合わない展開となりダブルス終了時点で3-2となりました。続く女子シングルの長妻選手が8-6で粘る相手を振り切り2回戦進出を決めました。

○2回戦は、草加市に4-1で快勝しました。

初回戦は、思わぬ苦戦となりましたが草加市も昨年4位の強敵です。一般男女に現役大学生を揃え接戦を予想しましたが、男子の田口・山本ペア、女子の河田・常磐ペアとも試合巧者振りを発揮し8-6で勝利しました。続くベテラダブルスでは女子45の鎌田・小野田ペア、男子55の塩澤・石川ペアが危なげなく勝利して準決勝進出を決めました。

○2日目の準決勝は、昨年2位で南部のライバル川口市と対戦、4-2で勝利し決勝進出を決めました。

準決勝は、予想通り川口市との対戦となりました。南部予選では勝利しましたが、メンバーも替わっており予測できない対決でした。初戦の女子河田・常磐ペアは序盤から安定した戦いで8-1で勝利し、男子の田口・古城ペアも粘る相手を8-5で突き放し2連勝としましたが、続く男女45ダブルスを落とし2-2で並びました。勝敗を左右する男子55の塩澤・石川ペアは8-1で圧倒し大手を掛けました。最後、男子シングルの田口選手が8-1で勝利し決勝進出を決めました。

○決勝はノーシードながら実力者揃いの新座市と対戦し、大接戦の上4-3で勝利し優勝を決めました！

決勝戦は、昨年惜敗した所沢市が相手と予想していましたが、実力者揃いの新座市との対戦となりました。一般の男女ダブルスを取れるかがポイントでしたが、河田・常磐ペア、田口・古城ペアともに序盤のリードを保ち勝利しました。続く、男子45の関根・木内ペアは強敵相手に善戦しましたが7-9で惜敗、しかし女子45の鎌田・小野田ペアが8-5で勝利し男女シングルスに優勝が掛かりました。女子の長妻選手は敗れましたが、男子の田口選手は実力者の相手選手と真っ向から打ち合い、見事8-5で勝利し優勝を飾ることができました。

## ○総括

選手及び役員の皆様、大変お疲れ様でした。お蔭様で4年振りの県大会優勝を果たすことができました。男子の田口君はシングル・ダブルスと大活躍、古城選手も圧巻のネットプレーはまさにダブルスのスペシャリスト。山本君も初日の勝利に貢献してくれました。女子の河田・常磐ペアは2日間唯一負けなしの活躍、河田さん伊達に全日本チャンピオンの看板背負ってません！男子45の関根・木内ペアは強豪との対戦で苦戦続きでしたが次は期待しています。女子45も鎌田さんが怪我を負いながら良く決勝戦に勝利してくれました。小野田さんの粘り強いプレーも流石です！男子55の塩澤・石川ペアも決勝戦こそ敗れましたが、南部予選からの6連勝で大きく貢献してくれました。今回は、どこが勝ってもおかしくない接戦続きの中優勝できたのは、偏に選手・役員のチームワークと総合力に尽きると実感しています。

来る7月の鹿児島全国大会では、埼玉県代表として恥じない闘いをしてまいります。

文責:さいたま市監督 清水宏明

# 選手紹介



常磐千暁 一般女子  
長妻珠希 河田景子



山本翔太 一般男子  
古城泰裕 田口正一郎



ベテラン男子1部  
木内大輔 関根浩王



ベテラン女子  
鎌田桂子 小野田愛子



ベテラン男子2部  
塩澤正樹 石川英明



ぐりぶー



さくら

ぐりぶーファミリーは、鹿児島県の公式PRキャラクターです。

